

(3) ^{すいがい} 水害をふせぐ

奥会津地方の水害



昭和44年の水害

何日も雨がふりつづいて
いた昭和44年8月12日の朝
にはとても強い雨になり、
野尻川や只見川のあちこと
で氾濫するほどになってし
まいました。

橋が流されたり、家も水
びたしになるところもたく
さんでました。

とくに山入の^{おおまた}大岐地区で
は、全部の家が流され、5人の死者がでました。このとき町全体では
8人がなくなり5人の^{じゅうしょう}重傷者を出した大きな^{すいがい}水害でした。

またこの水害では、国道にかかっていた水沼橋も流され、新しい橋
ができるまで2年もべつのところを遠まわりしなければなりませんで



水害時の水沼橋



新しい水沼橋